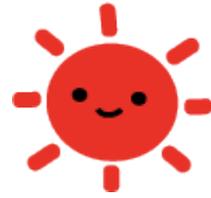


絵本の紹介

～夏のおすすめ～



〈あい組〉

きんぎょがにげた

作・絵：五味 太郎

五味 太郎さんの作品は色がはっきりとしていて特徴的です。きんぎょがどこか冒険に出かけるようにいろいろなところへ逃げていきます。「どこにいるかなあ？」と指さしでやりとりするのが楽しい1冊です。ページをめくる度に变化する世界もこの絵本の魅力の1つです。ぜひ、子どもと一緒にやりとりしながらゆったりと読んでみてはいかがでしょうか？



〈うみ組〉

おばけのアイスクリーム屋さん

作：安西 水丸

おばけのぼんちゃんが森で出会った動物たちにアイスクリームを作ってあげるお話です。一つひとつのアイスクリームの形が動物によって変化し、ページをめくる度に指差ししたり「ぴよんぴよん（うさぎ）」などと動物の名前を言ったりしてやりとりを楽しんでいます。最後のページでは、絵本に登場する全部の動物たちがアイスクリームを持っているのですが、うみ組では「わたし〇〇がいい！」「ぼくはこれ！」などと好きなアイスクリームを選んで食べる姿が見られています。



〈はな組〉

かぶとむしのぶんちゃん

作：高家 博成・仲川 道子

夜になるとぶんちゃんは、メスのカブトムシを助けたり、乱暴者のクワガタと戦ったりと大活躍！ 昆虫が大好きなはな組の子どもたちにこの絵本を紹介すると、たちまち“ぶんちゃん”は人気者になりました。「この前、パパとカブトムシ探しに行ったよ！」「カブトムシって何？」などと読みながら子どもたちはやりとりをしていました。

ストーリー性のある絵本も集中して見られるようになってきた子どもたち。24ページもあり、読みごたえのある絵本です。

